ハーモニー

第24号
令和8年9月

社会福祉法人
八戸市社会福祉事業団

〒039-1166 八戸市根城八丁目８番39号
電話：0178（41）1215　FAX：0178（45）1450
ＨＰ：https://www.hsfj.or.jp



いちい寮　毎年恒例の花火大会の様子

社会福祉法人八戸市社会福祉事業団　組織及び事業

事務局管理課	
在宅サービス課	老人居宅介護等事業・障害福祉サービス事業・訪問入浴介護事業・居宅介護支援事業・訪問入浴サービス事業
うみねこ学園	障害児入所施設・障害福祉サービス事業・指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業
うみねこ塾	障害児通所支援事業
いちい寮	障害者支援施設・障害福祉サービス事業・指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業・日中一時支援事業
長生園	養護老人ホーム
長生園デイサービスセンター	老人デイサービス事業
浩々学園	児童養護施設・児童自立生活支援事業
小菊荘	母子生活支援施設

青空の下で笑顔満開！みんなでピクニックに出発！

放課後等デイサービスセンター　うみねこ塾

6月24日、八戸公園へピクニックに出かけました。

八戸公園へのピクニックは、うみねこ塾の立地を活かした恒例行事です。

今年は、梅雨の時期の実施となり、暑さだけでなく雨の心配もありましたが、当日は見事に晴れ！さらに熊の出没情報もなく、完璧なコンディションで迎えることができました。

子どもたちが学校から帰ってくると、「ピクニック行くよ！」「楽しみだね～」と心を躍らせながら、準備に取りかかりました。



いよいよ出発の時間。職員が見守りながら、歩道が狭くなる道路の歩行にも注意を払い、歩いて30分かけて到着。

小学1年生の利用者にとっては、初めての長距離の散歩になりましたが、上級生に励まされながら、最後まで諦めずに歩くことができました。



公園に着くと、まずはバラ園でひと休み。色とりどりの薔薇が咲いていて、とても綺麗でした。

東屋付近まで行き、みんなで水分補給。たくさん歩いて疲れていた子どもたちは、これで一気に回復し、大型の複合遊具へまっしぐら。滑り台やブランコ、ロープジャングルジム等の遊具で、「見てー。こんなに高く登れたよ！」「次はあれやろうかな！」と夢中になっていました。

遊具が苦手な子どもたちは、持参したお気に入りのおもちゃで遊んだり、広い芝生を散歩したり、各々楽しい時間を過ごすことができました。

いっぱい遊んだ後は、東屋に集合し、待ちに待ったおやつタイム。みんなで楽しく、おやつを食べました。

楽しい時間はあっという間。まだまだ遊びたい気持ちをぐっとこらえて帰り支度をし、帰りは児童の体力に合わせて、徒歩組と車組に分かれ、無事うみねこ塾へ戻りました。

今回のピクニック中、大型の複合遊具は、一般の方も多く利用されていましたが、トラブルや事故・怪我も無く安全に遊ぶことができました。次回は、秋休みにピクニックを予定しています。

これからも、子どもたちの笑顔が満開になるよう日々支援に努めて参ります。

（太内田）





訪問入浴車「クイック号」がやってきた！
～競輪・オートレースの補助金でもっと安心・快適なお風呂をお届けします～

在宅サービス課

訪問入浴とは、ご自宅でお風呂に入ることが困難な利用者に対して、看護職員・介護職員・オペレーターの３人で訪問し、専用の浴槽を設置し、安心してお風呂に入っていただくサービスです。現在は、介護保険、障害福祉サービスのどちらの制度でも利用できます。

この度、競輪とオートレースの売り上げを財源とする「ＪＫＡ補助事業」からサポートをいただき、10年ぶりに待望の訪問入浴車を購入することが出来ました。ＪＫＡ補助事業では、売上の一部が社会福祉のほか、ものづくり・スポーツ・地域振興等の活動の支援に充てられています。

新車両のナンバー９１９にちなみ、「迅速に」サービスを届けることができるように「クイック号」と名付けて日々利用者のご自宅に伺い、訪問入浴を行っています。



新車両のタウンエースは、これまでの訪問入浴車よりも小型で小回りが利く車両となっています。移動がとてもスムーズで狭い道や駐車スペースが限られたお宅にも安心して訪問することができます。浴槽も軽量化されていて、女性スタッフでも軽々と持ち運びが出来るようになりました。

また、浴槽内のお湯がすぐに溜まり、適温をキープできるのも魅力の一つです。

これまでの訪問入浴車は、かなり老朽化していましたが、今回新たに補助事業を活用し、訪問入浴車を購入することができたことにより、これからも入浴を心待ちにしている利用者へ安心・安全にサービスを提供できます。

今日も明日も明後日も、クイック号は走り続けます！

（知崎）

土の中からこんにちは！
～里芋の収穫体験～

児童養護施設　浩々学園

やわらかな秋の日差しのもと、里芋の収穫体験を行いました。

毎年、地域の方々のご厚意で経験させていただいているもので、普段の学園生活とは異なり、豊かな自然に直接触れられるこの活動を、子どもたちも毎年楽しみにしています。

土の中にたくさん実った里芋を一つずつ外していく作業はなかなかの重労働です。それでも子どもたちは夢中で土を掘り進め、「一つでも多く収穫しよう！」と一生懸命。

手や服が泥だらけになるのも気にせず、それぞれのペースで頑張る姿が印象的でした。

途中で少し疲れが見えても、「がんばろう！」とこども同士で声をかけ合いながら乗り切る場面もありました。

五感を通して自然と触れ合うこの体験は、食への関心を深める素晴らしい食育の機会にもなっています。

収穫の後には、芋掘り中に作っていただいた焼き芋をみんなで美味しくいただきました。

青空の下で食べる味は格別で、子どもたちの弾けるような笑顔が溢れていました。

また、子どもたちの掘った里芋は学園の「収穫祭」で調理され、日々の食卓へとつながる貴重な学びとなっています。





このような素晴らしい体験の機会をくださり、温かく支えてくださる地域の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。

活動を通じて得た達成感や人とのつながりは、子どもたちの自信へとつながっています。

今後も地域との関わりを大切にしながら、子どもたちがさまざまな経験を通して視野を広げ、主体性を育んでいけるよう、日々の支援に取り組んでまいります。

（二ツ森）

みんなで協力！BBQ！

障害児入所施設　うみねこ学園

うみねこ学園では、昨年度から園内行事としてバーベキューを実施しています。

自然の中で食事や活動を楽しみながら、児童同士の交流を深める機会を作り、学園生活での思い出の一つになればと、この行事を企画しています。

当日参加した児童は、焼きそばやおにぎり、ウインナー、焼き肉、マシュマロなどを囲みながら、笑顔で食事を楽しんでいました。

準備や片付けでは、率先して動く児童の姿も多く見られ、一人ひとりが役割を持って協力しながら取り組んでいました。食事を楽しむだけではなく、みんなで一つの行事を作り上げる経験を通して、協調性や達成感を育む機会にもなりました。



また、普段は関わる機会の少ない児童同士が一緒に食事を楽しんだり、会話を交わしたりする姿も見られ、交流を深める貴重な時間となりました。

バーベキューが終わった後、児童と職員にアンケートを実施し、行事の振り返りを行いました。

「楽しかった」「またやりたい」「マシュマロがおいしかった」といった声が多く聞かれ、満足度の高い行事であったことがうかがえました。



一方で、今後の課題として、一人ひとりの食事量や役割分担、席の配置など、次回に向けた改善点も確認することができました。

これからも、児童一人ひとりが楽しく、積極的に参加できるような行事を計画し、児童同士の交流を深める機会を大切にしながら、充実した園内活動に取り組んでいきたいです。

（高坂）



入所者皆さまの願いが叶いますように

養護老人ホーム　長生園

長生園では、毎年、七夕の季節になると、入所者と職員が一緒に七夕飾りを作っています。

入所者の方々が書かれた短冊には、「家族や自分の健康」「腰がよくなるように」「メロンが食べたい」「みんなに会いたい」など、願いは様々でした。

一番多かったのは「元気でいられますように」「健康でいられますように」という願いでした。職員からは、「入所者の皆さんが笑って暮らせますように」「入所者さん、職員全員が幸せでありますように」と願い事をしました。

きれいな飾りと短冊で彩られた七夕飾りは、朝起きてきた時や、食堂へ向かう途中、夜寝る前など、立ち止まって眺めている入所者の姿も多くとても好評でした。

７月７日の昼食は七夕そうめんを提供し、入所者からは、「夏らしくていいわ」「昔を思い出す」という声が聞かれ、楽しんでいただけた様子でした。

（湊屋）



☆わくわく！プラネタリウム観覧☆

母子生活支援施設　小菊荘

小菊荘では、小学生以上の子どもたちを対象に子ども会行事を実施しています。

今年度は6月中旬に子ども7名、職員3名、実習生1名で八戸市児童科学館へ出かけました。

出発前からわくわくが止まらず、バスが到着するのを何度も確認し、待ちきれない様子も見られました。

児童科学館では、プラネタリウム「すみっコぐらしひろい宇宙とオーロラのひかり」を観覧しました。

世界各地の景色や満天の星空、幻想的なオーロラに触れ、子どもたちは美しい映像を楽しみながら鑑賞し、「きれいだった」「おもしろかった」と笑顔で感想を話す姿も見られ、宇宙や自然に興味を深める貴重な機会となりました。

上映後は館内の展示コーナーを見学しました。展示コーナーでは、科学の仕組みを実際に見て、触れて、体験できる展示が数多くあり、子どもたちは気になる展示を見つけるたびに歓声を上げ、楽しそうに見ていました。面白そうな展示を見つけると「あれやってみよう！」と友達を誘う場面も見られ、仲間と楽しさを分け合う姿はとても印象的でした。

これからも、子どもたちが様々な経験を重ね、豊かな心を育てていけるよう、一つひとつの行事や活動を大切にしていきたいと思います。

（高橋）



地域とのつながりを大切に

障害者支援施設　いちい寮

障害者支援施設には、利用者に対する日々の支援に加え、地域社会との密接な関係づくりが求められています。

いちい寮では、利用者が地域の一員として安心して暮らし、地域の皆様との触れ合いを楽しみながら、豊かな毎日を送ることができるよう、様々な地域交流に取り組んでいます。

利用者外出月間では、ショッピングセンターでの買物や外食を楽しみ、利用者それぞれが思い思いの時間を過ごしました。

また、花火大会では、町内の皆様にも開催をお知らせし、地域の皆様と一緒に打ち上げ花火を観覧しました。

夜空に咲く大輪の花火を眺めながら、笑顔あふれる楽しい時間となりました。



さらに、東十日市えんぶり組をお招きしてのえんぶり鑑賞では、演者の皆様との触れ合いを楽しみ、利用者も一緒に踊りに参加するなど、地域の文化を身近に感じる貴重な機会となりました。

その他にも、愛の輪レクリエーションや他施設のイベントへの参加、地域連携推進会議などを通じて、地域の皆様や関係機関との交流を深めるとともに、より良い関係づくりに努めています。

これからも、一つひとつの交流を大切にしながら、地域の皆様とともに歩む施設であるとともに、利用者が笑顔で毎日を過ごせる施設、そして地域の皆様に親しまれる開かれた施設を目指してまいります。

（野川）





理事長挨拶

八戸市社会福祉事業団
理事長　中村行宏

本年４月１日付けで社会福祉法人八戸市社会福祉事業団の理事長に就任いたしました中村行宏です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

当法人は、平成10年４月に八戸市からホームヘルプサービス事業や巡回入浴事業、養護老人ホーム「長生園」及び児童養護施設「浩々学園」の施設運営を受託し、事業をスタートいたしました。

その後、従前の２施設と合わせて、障害児入所施設「うみねこ学園」、障害者支援施設「いちい寮」、母子生活支援施設「小菊荘」の移譲を受け自主運営を開始し、近年では、放課後等デイサービスセンター「うみねこ塾」も新たに開設して、多種多様な福祉サービスを提供しています。

施設運営や各種福祉サービスの提供は、社会福祉士や介護福祉士、保育士、看護師、栄養士などの資格を有した170名を超える専門スタッフが、利用者様一人ひとりのニーズに寄り添うとともに、人権・人格・個性を最大限に尊重した対応に努めています。

事業開始から28年が経過した今、これまで積み上げてきた知識経験をベースに安定した福祉サービスを提供することはもとより、近年の多様化・複雑化する利用者ニーズにも柔軟に応えられる新たな福祉サービスを創造し、地域福祉を支えるセーフティネットの役割を果たしていくことが当法人の使命であると、決意を新たにしています。

今後とも、職員一同一丸となって、良質で満足度の高い福祉サービスの提供に努めて参りますので、利用者様をはじめ、御家族様、寄附等支援者様、関係機関の皆様には、引き続き、当法人に対する温かい御理解と御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

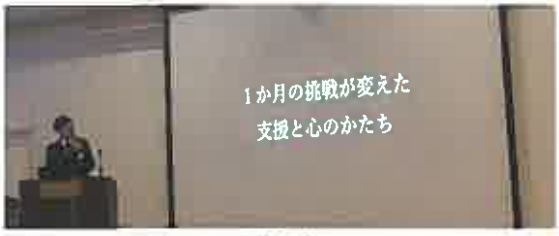
令和７年度実践研修報告会

当事業団では、毎年、職員自己評価を実施し、その結果から得られた課題を分析、取組、評価することでサービスの質の向上につなげる「実践研修報告会」を実施しています。

実践研修報告会では、理事長、専務理事、施設長、課長による審査員が、「課題の明確化、実践計画、計画に沿った取組、取組結果の評価、成果の共有」の５つの項目について採点し、総合点が一番高かったチームに理事長賞、「計画に沿った取組」項目の点数が一番高かったチームにチームワーク賞が授与されます。

令和７年度は、いちい寮チームが理事長賞を、小菊荘チームがチームワーク賞を受賞しました。

施設(課)名	テーマ
在宅サービス課	同行援護って何？ ～視覚障害者の外出を支えるために～
うみねこ学園	施設における服薬支援の極意 ～より安全で効率的な管理を目指して～
いちい寮	１か月の挑戦が変えた支援と心のかたち
長生園	生活リスク低減への取り組み 運動と清掃を通じた自立支援
浩々学園	児童も職員も過ごしやすい学園を目指して ～人権擁護研修を通しての改善～
小菊荘	入所者・職員を守ろう！ ～不審者対応のスキルアップを目指して～



いちい寮



小菊荘

新任職員紹介

うみねこ学園　**高坂**　児童指導員

【趣　味】野球観戦・ラーメン巡り
【ひとこと】子どもの思いに寄り添う支援を心がけます。

うみねこ学園　**久保**　保育士

【趣　味】ショッピング・ドライブ・お酒
【ひとこと】小さな変化に気づける職員を目指します。

うみねこ学園　**上平**　児童指導員

【趣　味】登山・サウナ
【ひとこと】笑顔で子どもたちと一緒に成長したいです。

うみねこ学園　**砂庭**　児童指導員

【趣　味】ガンプラ制作
【ひとこと】子どもたちの声に耳を傾け業務に勤しみたいです。

うみねこ学園　**牧野**　児童指導員

【趣　味】プロ野球観戦・旅行・ドライブ
【ひとこと】今まで培った経験を活かして頑張りたいと思います。

いちい家　**鈴木**　生活支援員

【趣　味】アニメ鑑賞
【ひとこと】即戦力になれるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

浩々学園　**椛本**　児童指導員

【趣　味】サーフィン・自然散策・ドライブ
【ひとこと】子どもたちが安心できる環境づくりに努めていきます。

浩々学園　**小泉**　保育士

【趣　味】バレーボール・美容
【ひとこと】自分らしく子どもたちに寄り添えるように頑張ります。





※掲載しているすべての写真は、本人及び保護者より許可を得ています。

令和７年度　決算報告

資金収支計算書　(自)令和７年４月１日 (至)令和８年３月31日

(単位：円)

勘　定　科　目	予　算	決　算	差　異
事業活動収入計(1)	1,062,194,000	1,079,844,636	△ 17,650,636
事業活動支出計(2)	1,088,028,000	1,046,736,453	41,291,547
事業活動資金収支差異(3)＝(1)－(2)	△ 25,834,000	33,108,183	△ 58,942,183
施設整備等収入計(4)	12,246,000	12,454,740	△ 208,740
施設整備等支出計(5)	45,965,000	45,783,320	181,680
施設整備等資金収支差額(6)＝(4)－(5)	△ 33,719,000	△ 33,328,580	△ 390,420
その他の活動収入計(7)	3,020,000	3,020,000	0
その他の活動支出計(8)	21,814,000	21,802,169	11,831
その他の活動資金収支差額(9)＝(7)－(8)	△ 18,794,000	△ 18,782,169	△ 11,831
予備費支出(10)	0	0	0
当期資金収支差額合計(11)＝(3)＋(6)＋(9)－(10)	△ 78,347,000	△ 19,002,566	△ 59,344,434
前期末支払資金残高(12)	291,828,000	291,831,510	△ 3,510
当期末支払資金残高(11)＋(12)	213,481,000	272,828,944	△ 59,347,944

事業活動計算書　(自)令和７年４月１日 (至)令和８年３月31日

(単位：円)

勘　定　科　目	当年度決算	前年度決算	増　減
サービス活動収益計(1)	1,074,663,756	1,020,715,537	53,948,219
サービス活動費用計(2)	1,090,656,611	1,037,048,795	53,607,816
サービス活動増減差額(3)＝(1)－(2)	△ 15,992,855	△ 16,333,258	340,403
サービス活動外収益計(4)	5,180,880	5,304,376	△ 123,496
サービス活動外費用計(5)	2,615,789	2,949,310	△ 333,521
サービス活動外増減差額(6)＝(4)－(5)	2,565,091	2,355,066	210,025
経常増減差額(7)＝(3)＋(6)	△ 13,427,764	△ 13,978,192	550,428
特別収益計(8)	12,454,740	0	12,454,740
特別費用計(9)	11,909,004	75,002	11,834,002
特別増減差額(10)＝(8)－(9)	545,736	△ 75,002	620,738
当期活動増減差額(11)＝(7)＋(10)	△ 12,882,028	△ 14,053,194	1,171,166
前期繰越活動増減差額(12)	571,767,272	595,827,013	△ 24,059,741
当期末繰越活動増減差額(13)＝(11)＋(12)	558,885,244	581,773,819	△ 22,888,575
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	3,020,000	0	3,020,000
その他の積立金積立額(16)	21,802,169	10,006,547	11,795,622
次期繰越活動増減差額(17)＝(13)＋(14)＋(15)－(16)	540,103,075	571,767,272	△ 31,664,197

貸借対照表　令和８年３月31日現在

(単位：円)

資　産　の　部				負　債　の　部			
	当年度末	前年度末	増　減		当年度末	前年度末	増　減
流動資産	322,200,584	349,070,290	△ 26,869,706	流動負債	108,126,232	112,966,557	△ 4,840,325
				固定負債	154,829,000	174,773,000	△ 19,944,000
固定資産	1,701,471,734	1,738,175,900	△ 36,704,166	負債の部合計	262,955,232	287,739,557	△ 24,784,325
				純　資　産　の　部			
基本財産	1,065,331,193	1,122,533,410	△ 57,202,217	基本金	3,000,000	3,000,000	0
				国庫補助金等特別積立金	729,588,638	755,496,157	△ 25,907,519
その他の固定資産	636,140,541	615,642,490	20,498,051	その他の積立金	488,025,373	469,243,204	18,782,169
				次期繰越活動増減差額	540,103,075	571,767,272	△ 31,664,197
				(うち当期活動増減差額)	△ 12,882,028	△ 14,053,194	1,171,166
資産の部合計	2,023,672,318	2,087,246,190	△ 63,573,872	純資産の部合計	1,760,717,086	1,799,506,633	△ 38,789,547
				負債及び純資産の部合計	2,023,672,318	2,087,246,190	△ 63,573,872